

富士重工業が認め、真のスバリストが選ぶ
TOTAL製プレミアムエンジンオイル

『レ・プレイヤー ZERO 0W-30』

F1、WRCをはじめ、数多くのモータースポーツチームに高性能オイルを供給し、その評価を得ているTOTAL（トタル）。そのトタルがスバル純正プレミアムオイルとして製造・供給しているのが「レ・プレイヤーZERO」である。発売以来使用ユーザー数が伸び続けているというプレミアムエンジンオイルの実力を、スバル部品用品本部で純正エンジンオイルを担当する二人のキーマンにうかがった。



スバリストであれば、ご存知であるようにプレミアムエンジンオイル「レ・プレイヤーZERO」の誕生は2012年まで遡る。このエンジンオイルの位置づけは、データーがお奨めするプレミアム純正オイルというものだ。一般にエンジンオイルは、鉱物油に代表される廉価品から、中間グレードの部分合成油、最高品質の全化学合成油があり、その中でもモーターレーシングなどに特化したプレミアムオイルがあるといった様に区別される。その中でプレミアムに分類されるオイル群は、たしかにレースやサーキット走行などで実績があり、積極的に選びたいくなるものだが、自動車メーカーが性能を確認した純正品のような各種テストを受けているわけではないという点で信頼性が気になるというユーザーもいることだろう。また多くのプレミアムオイルというのはハイパフォーマンス車向けに特化している傾向にあり、燃費性能を考慮していないきらいもある。

その点において、純正プレミアムオイルという独自のポジションに立つ「レ・プレイヤーZERO」は多くの面でアドバンテージを持っている。たとえば一般的な市販オイルというのは、APIやACEA等の試験を持って、あらゆるエンジンへ推奨できるとしていることが多い。しかし、「レ・プレイヤーZERO」に